



平成28年8月19日

各 位

会社名 株式会社テクノメディカ
代表者名 代表取締役社長 實吉 政知
(コード: 6678、東証第1部)
問合せ先 経営管理部長 萩原 一志
(TEL. 045-948-1961)

(訂正) 「平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、平成28年2月9日に開示いたしました「平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(平成28年8月19日)付「平成28年3月期決算短信及び過年度に係る決算短信等(訂正版)の公表について」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年2月9日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テクノメディカ
 コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 實吉 政知
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理部長 (氏名) 野田 哲 TEL 045-948-1961
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	<u>6,054</u>	<u>△4.9</u>	<u>1,148</u>	<u>△23.7</u>	<u>1,150</u>	<u>△23.7</u>	<u>752</u>	<u>△23.7</u>
27年3月期第3四半期	<u>6,364</u>	<u>8.0</u>	<u>1,506</u>	<u>△1.7</u>	<u>1,506</u>	<u>△1.7</u>	<u>986</u>	<u>2.2</u>

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	<u>85.93</u>	—
27年3月期第3四半期	<u>112.58</u>	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	<u>14,059</u>	<u>11,954</u>	<u>85.0</u>
27年3月期	<u>15,148</u>	<u>11,578</u>	<u>76.4</u>

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 11,954百万円 27年3月期 11,578百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	43.00	43.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期（予想）				43.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,803	13.5	2,511	8.2	2,514	8.2	1,596	7.4	182.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	8,760,000株	27年3月期	8,760,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	99株	27年3月期	99株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	8,759,901株	27年3月期3Q	8,759,937株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により、企業収益や雇用環境に改善がみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、中国をはじめとした新興国における景気減速等、懸念材料も多く、先行き不透明な状況で推移しました。

国内医療業界では、政府による「骨太の方針」において医療サービスの合理化、適正化が改めて提唱されるなど、社会保障費の増加抑制が政策課題とされる中、医療においてもより効率的で持続可能性のある在り方を目指した制度改革が進んでおります。

このような経営環境の中で、当社では採血管準備装置の主力機種であるBC・ROBO-8000RFIDの更新需要を着実に補足しつつ、全自動尿分取装置UA・ROBO-2000RFID、RFID輸血管理・照合システムTRIPS Bt等の新規受注に注力してまいりました。

しかしながら、医療施設における設備投資への慎重姿勢が続く中、販売単価の大きい採血管準備装置関連製品の販売が伸び悩んだ影響により、当第3四半期累計期間の売上高は6,054,726千円(前年同期比4.9%減少)となりました。また、総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同期比0.9ポイント減少し9.2%となりました。

利益面に関しては、販売の不調による減少に加えて、次期採血管準備装置、ならびに血液ガス分析装置の開発費が増加したこと等により、売上総利益は2,820,752千円(前年同期比11.0%減少)、販売費及び一般管理費は1,671,980千円(前年同期比0.5%増加)となり、営業利益は1,148,771千円(前年同期比23.7%減少)、経常利益は1,150,004千円(前年同期比23.7%減少)、四半期純利益は752,777千円(前年同期比23.7%減少)となりました。

<品目別の販売状況>

・採血管準備装置

当第3四半期累計期間における採血管準備装置の売上高は2,552,910千円(前年同期比12.4%減少)となりました。

国内大病院を中心に、採血管準備装置の更新について慎重な姿勢があったことから、採血室業務の効率化をより向上する、最適な装置のシステムの組み合わせを提案する営業を推進しておりますが、当第3四半期までは未だ十分に成果が現れておらず、採血管準備装置の販売単価及び納入施設数が低下・減少し、国内市場における売上高は2,268,162千円(前年同期比10.6%減少)となりました。海外市場における売上高は、284,748千円(前年同期比24.7%減少)となりました。

・検体検査装置

当第3四半期累計期間における検体検査装置の売上高は314,293千円(前年同期比4.6%減少)となりました。

国内市場においては、競合他社との競争が続いている影響により、売上高は264,202千円(前年同期比6.2%減少)となりました。海外市場では、新興国市場を中心に積極的な販売活動を継続した結果、売上高は50,091千円(前年同期比5.1%増加)となりました。

・消耗品等

当第3四半期累計期間における消耗品等の売上高は3,083,340千円(前年同期比2.3%増加)となりました。

装置の累計納入台数に比例した底堅い伸長に加え、採血管準備装置RFIDラベル売上の増加があったことにより、国内市場における売上高は2,859,271千円(前年同期比2.4%増加)、海外市場における売上高は224,069千円(前年同期比0.9%増加)となりました。

・その他

当第3四半期累計期間において、その他の売上高は104,181千円(前年同期比2.3%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産の残高は14,059,823千円となり、前事業年度末比1,088,583千円減少しました。これは主に、売掛金の回収が順調に進んだことにより、売上債権が866,449千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債の残高は2,105,330千円となり、前事業年度末比1,464,685千円減少しました。これは主に、平成27年3月期第4四半期において販売をおこなった製品仕入に係る支払が滞りなく進んだことにより仕入債務が1,163,332千円減少、法人税等の支払により未払法人税等が375,123千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は11,954,492千円となり、前事業年度末比376,101千円増加しました。これは主に、利益剰余金が376,101千円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は85.0%となり、前事業年度末比8.6ポイント増加しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日付の平成27年3月期決算短信で発表した平成28年3月期通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,539,607	7,665,313
受取手形	694,260	862,774
電子記録債権	—	240,192
売掛金	<u>2,733,099</u>	<u>1,457,944</u>
商品及び製品	<u>2,247,667</u>	<u>1,884,433</u>
仕掛品	133,675	236,721
原材料及び貯蔵品	73,034	79,735
前払費用	11,447	14,214
繰延税金資産	<u>101,369</u>	<u>44,991</u>
その他	1,114	33,164
貸倒引当金	<u>△7,678</u>	<u>△5,123</u>
流動資産合計	<u>13,527,600</u>	<u>12,514,362</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物	892,800	893,704
減価償却累計額	△464,346	△484,377
建物(純額)	<u>428,453</u>	<u>409,327</u>
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	△3,292	△3,367
構築物(純額)	<u>785</u>	<u>709</u>
機械及び装置	158,650	158,650
減価償却累計額	△50,824	△73,150
機械及び装置(純額)	<u>107,825</u>	<u>85,499</u>
工具、器具及び備品	101,426	102,326
減価償却累計額	△69,654	△76,873
工具、器具及び備品(純額)	<u>31,772</u>	<u>25,453</u>
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	<u>1,356,163</u>	<u>1,308,317</u>
無形固定資産		
特許権	1,350	842
商標権	666	516
ソフトウェア	27,814	21,930
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	<u>31,008</u>	<u>24,467</u>
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
繰延税金資産	<u>96,795</u>	<u>95,889</u>
その他	129,328	109,275
投資その他の資産合計	<u>233,633</u>	<u>212,675</u>
固定資産合計	<u>1,620,806</u>	<u>1,545,460</u>
資産合計	<u>15,148,406</u>	<u>14,059,823</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,175,913	1,012,581
未払金	84,388	113,107
未払費用	59,129	59,505
未払法人税等	545,443	170,319
未払消費税等	169,453	48,876
前受金	69,391	243,216
預り金	9,005	20,529
賞与引当金	113,650	51,900
役員賞与引当金	34,500	—
その他	1,104	1,486
流動負債合計	<u>3,261,980</u>	<u>1,721,522</u>
固定負債		
役員退職慰労引当金	250,085	264,065
製品保証引当金	40,787	26,953
その他	17,162	92,789
固定負債合計	<u>308,035</u>	<u>383,808</u>
負債合計	<u>3,570,015</u>	<u>2,105,330</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	9,540,881	9,916,983
自己株式	△217	△217
株主資本合計	<u>11,578,390</u>	<u>11,954,492</u>
純資産合計	<u>11,578,390</u>	<u>11,954,492</u>
負債純資産合計	<u>15,148,406</u>	<u>14,059,823</u>

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	6,364,657	6,054,726
売上原価	3,194,887	3,233,973
売上総利益	3,169,769	2,820,752
販売費及び一般管理費	1,663,708	1,671,980
営業利益	1,506,061	1,148,771
営業外収益		
受取利息	820	956
受取配当金	27	0
その他	580	344
営業外収益合計	1,429	1,301
営業外費用		
支払利息	68	68
保険解約損	736	—
その他	42	—
営業外費用合計	846	68
経常利益	1,506,644	1,150,004
税引前四半期純利益	1,506,644	1,150,004
法人税、住民税及び事業税	471,697	339,943
法人税等調整額	48,716	57,283
法人税等合計	520,413	397,227
四半期純利益	986,230	752,777

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、医療機器及びこれら装置で使用する消耗品の製造、販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成しておりません。

(訂正前)



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年2月9日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テクノメディカ
 コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 實吉 政知
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理部長 (氏名) 野田 哲 TEL 045-948-1961
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,522	△6.3	1,067	△17.6	1,068	△17.5	737	△13.7
27年3月期第3四半期	5,895	3.7	1,294	3.6	1,295	3.6	853	7.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	84.14	—
27年3月期第3四半期	97.46	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	14,175	12,705	89.6
27年3月期	15,693	12,344	78.7

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 12,705百万円 27年3月期 12,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	43.00	43.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期（予想）				43.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,803	13.5	2,511	8.2	2,514	8.2	1,596	7.4	182.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	8,760,000株	27年3月期	8,760,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	99株	27年3月期	99株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	8,759,901株	27年3月期3Q	8,759,937株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により、企業収益や雇用環境に改善がみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、中国をはじめとした新興国における景気減速等、懸念材料も多く、先行き不透明な状況で推移しました。

国内医療業界では、政府による「骨太の方針」において医療サービスの合理化、適正化が改めて提唱されるなど、社会保障費の増加抑制が政策課題とされる中、医療においてもより効率的で持続可能性のある在り方を目指した制度改革が進んでおります。

このような経営環境の中で、当社では採血管準備装置の主力機種であるBC・ROBO-8000RFIDの更新需要を着実に補足しつつ、全自動尿分取装置UA・ROBO-2000RFID、RFID輸血管理・照合システムTRIPS Bt等の新規受注に注力してまいりました。

しかしながら、医療施設における設備投資への慎重姿勢が続く中、販売単価の大きい採血管準備装置関連製品の販売が伸び悩んだ影響により、当第3四半期累計期間の売上高は5,522,886千円(前年同期比6.3%減少)となりました。また、総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同期比0.7ポイント増加し8.4%となりました。

利益面に関しては、販売の不調による減少に加えて、次期採血管準備装置、ならびに血液ガス分析装置の開発費が増加したこと等により、売上総利益は2,729,112千円(前年同期比7.1%減少)、販売費及び一般管理費は1,662,108千円(前年同期比1.2%増加)となり、営業利益は1,067,003千円(前年同期比17.6%減少)、経常利益は1,068,236千円(前年同期比17.5%減少)、四半期純利益は737,091千円(前年同期比13.7%減少)となりました。

<品目別の販売状況>

・採血管準備装置

当第3四半期累計期間における採血管準備装置の売上高は2,057,010千円(前年同期比17.3%減少)となりました。

国内大病院を中心に、採血管準備装置の更新について慎重な姿勢があったことから、採血室業務の効率化をより向上する、最適な装置のシステムの組み合わせを提案する営業を推進しておりますが、当第3四半期までは未だ十分に成果が現れておらず、採血管準備装置の販売単価及び納入施設数が低下・減少し、国内市場における売上高は1,857,462千円(前年同期比18.8%減少)となりました。海外市場における売上高は、アジア市場における販売の伸長により第2四半期までの遅れを取り戻し、199,547千円(前年同期比0.6%増加)となりました。

・検体検査装置

当第3四半期累計期間における検体検査装置の売上高は310,306千円(前年同期比3.9%減少)となりました。

国内市場においては、競合他社との競争が続いている影響により、売上高は264,202千円(前年同期比6.2%減少)となりました。海外市場では、新興国市場を中心に積極的な販売活動を継続した結果、売上高は46,104千円(前年同期比11.8%増加)となりました。

・消耗品等

当第3四半期累計期間における消耗品等の売上高は3,080,068千円(前年同期比2.6%増加)となりました。

装置の累計納入台数に比例した底堅い伸長に加え、採血管準備装置RFIDラベル売上の増加があったことにより、国内市場における売上高は2,859,271千円(前年同期比2.4%増加)、海外市場における売上高は220,796千円(前年同期比4.3%増加)となりました。

・その他

当第3四半期累計期間において、その他の売上高は75,501千円(前年同期比9.5%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産の残高は14,175,177千円となり、前事業年度末比1,518,294千円減少しました。これは主に、売掛金の回収が順調に進んだことにより、売上債権が1,702,663千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債の残高は1,469,900千円となり、前事業年度末比1,878,709千円減少しました。これは主に、平成27年3月期第4四半期において販売をおこなった製品仕入に係る支払が滞りなく進んだことにより仕入債務が1,197,352千円減少、法人税等の支払により未払法人税等が459,322千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は12,705,276千円となり、前事業年度末比360,415千円増加しました。これは主に、利益剰余金が360,415千円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は89.6%となり、前事業年度末比10.9ポイント増加しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日付の平成27年3月期決算短信で発表した平成28年3月期通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,539,607	7,665,313
受取手形	694,260	862,774
電子記録債権	—	240,192
売掛金	<u>4,139,903</u>	<u>2,028,533</u>
商品及び製品	<u>1,389,821</u>	<u>1,435,285</u>
仕掛品	133,675	236,721
原材料及び貯蔵品	73,034	79,735
前払費用	11,447	14,214
繰延税金資産	<u>116,907</u>	<u>52,318</u>
その他	1,114	33,164
貸倒引当金	<u>△61,475</u>	<u>△42,999</u>
流動資産合計	<u>14,038,297</u>	<u>12,605,255</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物	892,800	893,704
減価償却累計額	△464,346	△484,377
建物(純額)	<u>428,453</u>	<u>409,327</u>
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	△3,292	△3,367
構築物(純額)	<u>785</u>	<u>709</u>
機械及び装置	158,650	158,650
減価償却累計額	△50,824	△73,150
機械及び装置(純額)	<u>107,825</u>	<u>85,499</u>
工具、器具及び備品	101,426	102,326
減価償却累計額	△69,654	△76,873
工具、器具及び備品(純額)	<u>31,772</u>	<u>25,453</u>
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	<u>1,356,163</u>	<u>1,308,317</u>
無形固定資産		
特許権	1,350	842
商標権	666	516
ソフトウェア	27,814	21,930
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	<u>31,008</u>	<u>24,467</u>
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
長期未収入金	<u>35,746</u>	<u>5,596</u>
繰延税金資産	131,163	120,350
その他	129,328	109,275
貸倒引当金	<u>△35,746</u>	<u>△5,596</u>
投資その他の資産合計	<u>268,002</u>	<u>237,136</u>
固定資産合計	<u>1,655,174</u>	<u>1,569,921</u>
資産合計	<u>15,693,472</u>	<u>14,175,177</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,121,731	924,379
未払金	81,028	106,615
未払費用	59,129	59,505
未払法人税等	464,377	5,055
未払消費税等	163,867	—
預り金	9,005	20,529
賞与引当金	113,650	51,900
役員賞与引当金	34,500	—
その他	1,104	1,486
流動負債合計	3,048,394	1,169,470
固定負債		
役員退職慰労引当金	250,085	264,065
製品保証引当金	40,787	26,953
その他	9,342	9,411
固定負債合計	300,215	300,429
負債合計	3,348,610	1,469,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	10,307,352	10,667,768
自己株式	△217	△217
株主資本合計	12,344,861	12,705,276
純資産合計	12,344,861	12,705,276
負債純資産合計	15,693,472	14,175,177

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	5,895,813	5,522,886
売上原価	2,959,508	2,793,774
売上総利益	2,936,305	2,729,112
販売費及び一般管理費	1,641,674	1,662,108
営業利益	1,294,630	1,067,003
営業外収益		
受取利息	820	956
受取配当金	27	0
その他	580	344
営業外収益合計	1,429	1,301
営業外費用		
支払利息	68	68
保険解約損	736	—
その他	42	—
営業外費用合計	846	68
経常利益	1,295,213	1,068,236
税引前四半期純利益	1,295,213	1,068,236
法人税、住民税及び事業税	376,240	255,744
法人税等調整額	65,212	75,401
法人税等合計	441,452	331,145
四半期純利益	853,760	737,091

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、医療機器及びこれら装置で使用する消耗品の製造、販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成しておりません。